

6) アジア防災センターの設立

このような経緯を経て、日本政府でアジア防災センターの組織や運営経費等について関係各国と協議を重ねた結果、アジア防災センターは地元兵庫県の協力も得て、1998年7月30日に兵庫県神戸市に設立された。

1-2 組織及び体制

アジア防災センターは当初メンバー国が22カ国、アドバイザー国が4カ国及びオブザーバー1つによって構成されていたが、2000年8月にアルメニアが、2002年7月にキルギスが加盟し、現在メンバー国は24カ国となっている。また、2004年3月にアメリカ合衆国が、5番目のアドバイザー国となった。

1-3 活動方針とこれまでの活動内容

1-3-1 活動方針

アジア防災センターでは、基本的な活動方針を以下の通りとしている。

(1) 防災情報の共有 (Information Sharing)

- ① ホームページを通じた最新災害情報・メンバー国防災情報・グッドプラクティス・多国語防災用語集などの提供
- ② GLIDE (世界災害共通番号) の推進
- ③ 国際会議の開催 等

(2) メンバー国の人材育成(Human Resource Development)

- ① 防災セミナー・研修の開催
- ② 外国人研究員招聘プログラムの実施 等

(3) コミュニティの防災力向上(Building Community Capabilities)

- ① コミュニティ・住民参加を促すツールの開発・普及
- ② NGOアジア防災・災害救援ネットワーク ADRRN (Asian Disaster Reduction & Response Network) への支援 等

1-3-2 これまでの活動内容

アジア地域の国際防災協力拠点として幅広く活動するためには、まずは、組織の存在を広くアピールし、関係国及び関係機関との協力関係を樹立していくことが、何にもまして重要であった。

そこで、関係する国際会議などへの出席、関係国への訪問調査、関係機関からの視
